

# えりもしやくなげ



発行者 教育長 川上松美 (代)01466-2-2525

<http://www.town.erimo.lg.jp/section/>

[kyouiku/s6h94000000pqh.html](http://www.town.erimo.lg.jp/section/kyouiku/s6h94000000pqh.html)

## 先生と保護者みんなで考える

### ○凡事徹底の成果と課題の明確化を図る

12月26日(水)に小・中・高の先生方90名と保護者の皆さんが参加し、今年の実践発表について振り返り、小中高の実践発表とこれからどう改善を図るかなどを話し合いました。

また、当日は、「学力向上地域別研修会」を兼ねて、教育局の湊教育支援課長から、当町の状況を全国と比べた報告があり、家庭学習時間など、共通認識に立ちました。



小・中・高の先生方と保護者のグループに分かれて話し合い、4グループが発表

来賓として教育委員と教育行政評価委員が出席し、学校の取組などについて理解を図りました。



家庭学習や読書などについて真剣に話し合う保護者代表の皆さん

### 発表された内容概要は次のとおりです

○経年変化を重視した各校の取組について

①えりも町学力調査の結果に基づく小5年生の経年変化の結果(国語・算数)を踏まえた具体的な取組について、櫻井事務局長(笛舞小教頭)から報告がありました。

②中学校と高校の学力調査等の結果を踏まえた取組について、えりも中学校の金澤久子委員からは「習熟度学習で成果が出てきていること」、高校の佐藤真弥子委員からは、「1年と2年で実施しているスタディーサポートから、個別指導により、全道平均以上の結果が出てきていること」が述べられ、特に佐藤委員から、『えりも高校はえりもの教育の最終形』と考えて全校あげて取り組んでいることが伝えられました。

③この後、12グループに分かれて、テーマを、教師側は「学力向上に向けた学校の取組」、

保護者側は「家庭学習と読書習慣」として、ワークショップ形式になって熱心に話し合いが行われました。

④最後には、グループで話し合われたことについて、4グループから発表されました。

## 冬休みの学習サポート えりも中学校とえりも高校



3年生は延べ6回 99名、1・2年生は4日 138名が冬休み学習に取り組んでいました



アポイ山荘で、3日間の勉強合宿に励む、えり高1・2年生延べ42名が参加しました

# 冬休み学習サポート

全ての学校で、児童生徒に自ら学ぼうとする態度を育むために  
先生方が一人一人に寄り添って教えてくれました

今年で5年目を迎えた冬休み学習サポート。  
各学校が組織体制を組んで取り組んでいます。  
先生方の熱意に感謝と感激です。

## 各学校の実施日程

- 笛舞小学校 12/25・26・27
- えりも小学校 12/25、1/11
- 東洋小学校 1/15・16
- えりも岬小学校 12/25・26・27
- 庶野小学校 12/26・27・28
- えりも中学校  
1・2年生 12/27・18、1/11・15・16・17  
3年生 12/26・27、1/8・9・15・16
- えりも高校  
勉強合宿 12/26～28 アポイ山荘  
冬期講習・公務員講習 1/8～11



東洋小では、全校生が小ホールに集まり、上級生が下級生に教え合い、仲良く自主学習に取り組んでいました



笛舞小では、個の手立てを重視して学年ごとに行われました。一人一人が日常の学習時間と同様に真剣にしっかり取り組んでいた姿が印象的でした



えりも岬小では、全校生が集まり、チャレンジテストに挑戦していました。学習への真剣な姿勢がうかがえます



えりも小では、小高連携の取組を行い、えりも高校生が学習ボランティアとして3名の田内さん、田中さん、北村さんが学習会の補助をしてくれました。3年目を迎えたすばらしい取組です



庶野小では、5・6年生はフユトレで克服特訓、4年生以下はチャレンジテストなど、全校あげて進められていました。先生の熱意を感じました